

あomorい法人 かわらばん

200号

令和6年11月1日

年4回発行

(4.7.11.1月)

発行 公益社団法人 青森法人会 TEL 775-2580

青森市橋本二丁目13番5号 グランスクエア青森5階 創刊 昭和49年7月1日

URL <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>



平和公園

『令和7年度税制改正提言事項』 の提言活動

令和6年10月21日（月）、林会長、今筆頭副会長、蝦名専務理事が、青森市役所を訪問し、青森市長に対して、「令和7年度税制改正提言事項」の提言活動を行った。

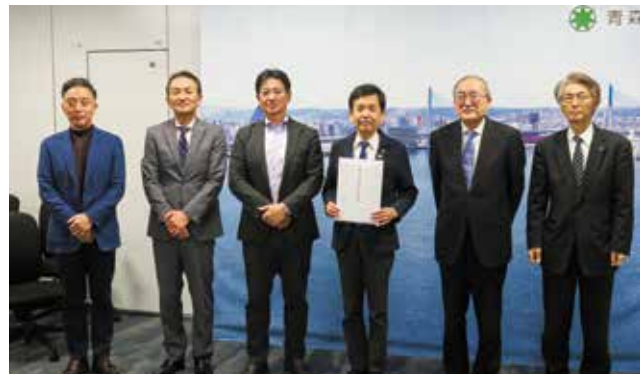
はじめに、林会長から西 秀記市長に、全国法人会総連合が全国の法人会で実施した税制改正に関するアンケートを取りまとめて作成した「令和7年度税制改正提言書」を手交し、今筆頭副会長（税制委員長）から税・財政改革のあり方、経済活性化と中小企業対策、地方のあり方、租税教育の充実、地方税関係などの重点項目を説明後、意見交換を行った。

青森市からは、西市長のほか、赤坂 寛副市長、横山英大副市長、税務部の横内 修部長、工藤健志次長にご出席いただいた。

また、同日、青森市議会議長あての提言書を市議会議事局に届けた。
（※令和7年度税制改正提言事項の内容は全国法人会総連合のホームページに掲載）

**令和7年度
税制改正スローガン**

- 「金利のある世界」が到来。新たな財政再建目標の策定を！
- 企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- 人手不足など厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の活性化に資する税制措置を！
- 中小企業は地域経済と雇用の担い手。本格的な事業承継税制の創設を！



**新会員を
募集中です!**

経営に差がつく・税の知識が身につく・人脈が広がる
お知り合いの経営者をご紹介ください!
(事務局にご連絡をいただければ説明に伺います)



第46回理事会開催

令和6年10月18日(金)、ホテル青森において第46回理事会を開催した。

報告事項として、令和6年4月～9月における代表理事・業務執行理事の職務執行状況、会員拡大、各種委員会の開催内容、税制提言活動、事業研修関連、青年部会・女性部会の活動等の報告を行った。

会員拡大では、令和6年9月末現在、法人会員が前年度12月末比9社純増しており、引き続き、役員からの紹介、福利厚生制度協力会社との連携により会員増強を図ることとした。税制改正提言では、令和6年度税制改正実現事項、令和7年度税制改正提言の内容説明、事業研修関連では、令和5年度の当会の税制・税務研修の参加率が10.6%(全国で27位)で全法連表彰の対象となったこと、さらに、青年部会・女性部会の活動では、国税庁の令和6年度「租税教育推進校等表彰制度」において仙台国税局長表彰に決定したことを報告した。

また、協議事項では、「私有車業務使用規程の制定」「旅費規程の改定」「個人情報保護に関する基本方針の改定」が承認された。

理事会に続き「福利厚生制度推進会議」を開催し、福利厚生制度協力会社より、今年度の推進状況の報告および「challenge 1000キャンペーン」への協力要請があった。



組織委員会・厚生委員会

厚生委員会と組織委員会(阿部吉平委員長)を、令和6年9月24日(火)、ホテル青森において合同で開催した。

組織委員会では、県連組織委員会の報告、当会における会員増強活動について意見交換を行い、役員による加入勧奨や福利厚生制度協力会社との連携により会員数の拡大を図ることとした。

厚生委員会では、令和6年度新春お楽しみ会の内容の協議、福利厚生制度の令和5年度の推進結果および令和6年度推進施策の「企業の福利厚生制度に関するアンケート」[challenge 1000]キャンペーン推進のための施策の説明、福利厚生制度協力3社の取組み状況の説明、意見交換を行った。



総務委員会・広報委員会

総務委員会と広報委員会(米谷恵司委員長)を、令和6年10月8日(火)、ホテル青森において合同で開催した。

総務委員会では、優良経理担当者表彰の被表彰者および東北六県連及び青森県連の永年勤続役員表彰に係る被表彰者の決定、今年度の社会貢献活動、「税を考える週間」関連行事の報告、意見交換を行った。

広報委員会では、全法連および



セミナー開催

当会における広報事業の実施状況の報告や、11月の「税を考える週間」関連行事、1月の市民図書館への図書寄贈、その他の事業の広報・周知活動を通して法人会の活動を広くアピールし、会員拡大にもつなげていくこととした。また、法人会会員の声を社会に届けるための「アンケート調査システム」の登録数の増加を目指すこととした。

1. DX推進 IT活用セミナー

7月23日(火)、リンクステーションホール青森において、(株)C.S.ファクトリー代表取締役 井本貴之氏が、DXの基本的知識、DX活用の目的や方法、DXを成功させるポイント(小さく始める。社内で専属のスタッフを配置する。利用できるサービスに業務を合わせる。外部のパートナーを上手に使う)など、わかりやすく説明した。(参加者14名)



2. 社会保険事務実務のポイント

8月28日(水)、リンクステーションホール青森において開催し、社会保険労務士の山下繁幸氏が、標準報酬月額決定と改定、保険料と被保険者期間、労働条件明示の制度改正などについて説明した。(参加者36名)



3. 決算法人説明会

9月18日(水)、青森第二合同庁舎において、8月～11月決算の法人を対象にした説明会を青森税務署との共催で行った。



はじめに、事務局から「法人会の事業」および「企業税務コンプライアンス向上のための取り組み」について説明し、続いて、青森税務署の審理専門官が決算申告の実務や留意事項、定額減税、キャッシュレス納付の活用などについて説明した。(参加者24名)

「企業税務コンプライアンス向上のための取り組み」

本取り組みは、法人会が日本税理士会連合会の監修、国税庁の後援を受けて作成した「自主点検チェックシート」により、企業自らが内部統制面や経理面の質的向上に向け自主点検を行い、これを通じて企業の税務コンプライアンスの向上を図り、企業の成長をめざし、ひいては税務リスクの軽減にもつながることを期待するものです。

本チェックシートには、「チェック項目42項目(入門編)」と「チェック項目84項目」の2種類があり、どちらも、当法人会のホームページからダウンロードができますので、是非ご活用ください。

4. 源泉所得税 実務のポイント

9月27日(金)、リンクステーションホール青森において開催し、青森税務署の法人課税部門担当官が、給与所得や退職所得、支払報酬・非居住者からの源泉徴収手続き、所得税の定額減税のしかたなどについて説明した。(参加者30名)

青年部会

青年部会（佐藤一尚部会長）は次の行事を行った

◆7月例会開催◆

7月11日（木）、ワイン倶楽部において、7月例会を開催した。
青森市のapocycle（株）代表取締役の藤巻圭氏を講師にお招きし、「この国のアップサイクルを加速する」と題して講演を行った。



藤巻社長は青森市出身で、20代から首都圏で美容師として美容業界で働き、再生医療業界や化粧品業界を経て2022年にapocycleを設立した。りんごの廃棄物を活用したヴィーガンレザーを手がける会社を経営しており、ANAやセイコー、ライ

トオンなどの大企業とのコラボアイテムを多数生み出している。

青森の廃棄りんごやりんご残渣を使用した環境配慮型のアップルレザー「RINGO-TEX」を通じて、青森のりんご産業への利益の還元と循環、青森県の地方創生にも貢献していきたい、と話していた。

講演のあとは講師を交えて懇親会を開催した。

◆青森税務署長と懇談◆

10月18日（金）、佐藤部会長と吉田副部会長が青森税務署を訪問し、三上俊明署長ほか幹部の皆様と、税金ウルトラクイズへの協力依頼、クイズ問題の打合せなどを行った。



女性部会

女性部会（田中桂子部会長）は次の行事を行った。

◆県女性部会研修交流会に参加◆

8月8日（木）、弘前市で県女性部会研修交流会が開催され、当女性部会から6名が参加した。東奥義塾高校の礼拝堂にてパイオリアルガン演奏の鑑賞、津軽藩ねぶた村の見学後、弘前パークホテルにて津軽三味



線の演奏を聴き、食事をしながら県内の女性部会員同士交流を図った。

◆青森税務署長と懇談◆

8月19日（月）、田中部会長はじめ役員5名が青森税務署を訪問し、三上俊明署長ほか幹部の皆様と、租税教室、税に関する絵はがきコンクールなどについて話合った。



経理研究会

経理研究会（今良暢会長）は、年7回目例会を行っており、9月17日（火）は青森税務署筆頭副署長の大澤明史氏が「税務行政のDX」をテーマに、e-taxの利用、キャッシュレ

ス納付の推進、適正・公平な課税・徴収、税務行政の将来像などについて講話した。



浪岡支部総会

浪岡支部（三上鉄則支部長）は、10月25日（金）、通常総会を開催した。総会開催に先立ち税理士の雪田廣志氏による「令和6年度税制改正」についての税務研修を行った。

総会は、三上支部長の挨拶に続き、令和5年度事業報告および収支決算、令和6年度事業計画および収支予算について、審議を行い、いずれも承認された。総会終了後は会員懇親会を行った。



税を考える週間について

毎年11月11日から17日までの1週間を「税を考える週間」と定め、広く国民に税に関心を持ってもらうこと、税について考えてもらうことを目指しています。

税務署はもとより法人会も各地で記念行事を開催しています。是非ご参加ください。

法人会グッズのご案内

法人会では「税を考える週間PRのための『時刻表』」を作成配布しております。同封致しますのでご利用下さい。

青森税務署の定期異動

7月の定期異動により以下のとおり就任した。（当会関係分）（敬称略）

- 【青森税務署】
- 署長 三上俊明（仙台審判所管理課長）
- 筆頭副署長 大澤明史（青森署副署長）
- 副署長 大島孝次
- 総務課長 伊東宣之（米沢署総務課長）
- 税務広報広聴官 夏坂聡志（水沢署長）
- 法人一統括官 蒲野正樹（仙台中署消費税専門官）
- 審理専門官 岩本宏悦（盛岡署審理専門官）
- 連絡調整官 吉田好孝（青森署指導官付総括上席）

青森法人会の事業・会議の予定

税金ウルトラクイズ (青年部会)

令和6年11月4日(月) 午後1時 (サンロード青森)

税を考える週間・青森税務署長講演「税のよもやま話」

令和6年11月12日(火) 午後4時 (ホテル青森)

講師 青森税務署 署長 三上 俊明 氏

優良経理担当者表彰式

令和6年11月18日(月) 午前11時30分 (ホテル青森)

経理研究会例会

令和6年11月19日(火)・12月17日(火) 午前11時 (県食糧会館)

税に関する絵はがきコンクール作品選定会議

令和6年11月19日(火) 午後2時 (ホテル青森)

経営セミナー「総務の基本と実務」

令和6年11月26日(火) 午後1時30分 (リンクステーションホール青森)

年末調整説明会

令和6年11月28日(木) 午後1時30分 (リンクステーションホール青森)

新設法人説明会

令和6年12月11日(水) 午後1時30分 (青森税務署)

税務セミナー「会社取引をめぐる税務」

令和6年12月18日(水) 午後1時30分 (リンクステーションホール青森)

現在開催計画未定の事業が開催されることもありますので、詳しくはホームページをご覧ください。

広報紙では、当会の活動を紹介しています。研修会・講演会等には、会員以外の方も参加できます。事務局までお申し込みください。

青森法人会事務局

電話 017-775-2580 FAX 017-773-5644

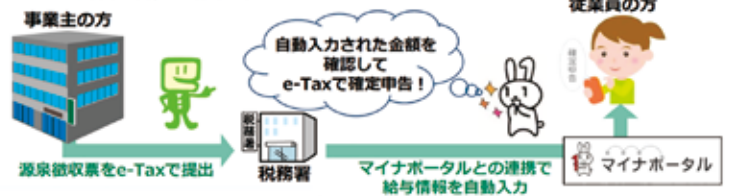
アドレス <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>

青森税務署からのお知らせ

「事業主の皆さまへ」

給与所得の源泉徴収票を 従業員の方の e-Taxで提出すると... 確定申告がさらに簡単に!!

事業主の皆さまが、
給与所得の源泉徴収票をe-Taxで提出することで、
従業員の方が、所得税の確定申告書を作成する際、
給与所得の源泉徴収票の情報が自動で入力されます！
※令和6年1月以降に提出される給与所得の源泉徴収票（令和5年分以後の年分）が対象です。
※従業員の方が国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」からマイナンバーカードを利用してe-Taxで申告する際にご利用になれます。



会員の皆様へ

住所、代表者などの変更がありましたら、お手数ですが事務局へご連絡願います。

法人会会員のみなさまに

法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

keep moving forward

数多の人を繋いだ道。
これからも前進を。

法人会の「経営者大型総合保障制度」は1971年に創設されました。
想いをつないで50年。これまでも、これからも企業の繁栄を
サポートしつづける経営者大型総合保障制度です。

DAIDO 大同生命保険株式会社

きた東北支社/
青森県青森市奥野1-11-10
TEL 017-735-7030

AIG AIG損害保険株式会社

青森支店/
青森県青森市本町1-2-15
(青森本町第一生命ビルディング)
TEL 017-777-3531

法人会会員企業にお勤めの方は、
おひとり様からでも集团扱の割安な保険料でご加入いただけます。



—月額保障×サービスでつくる—
新しい形の医療保険
REASON

がんを含む
病気や
ケガの
備えに



「生きるを創る
がん保険
WINGS

心配な
「がん」の
備えに

●契約年齢●
0歳～
満85歳まで
※ご契約内容により異なります。

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

Afiac アフラック

青森支社 〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9階
法人会用フリーダイヤル ☎ 0120-876-505
※今後の対応は担当の募集代理店が行ないます。

資料請求はお気軽にどうぞ!

アフラック 法人会 検索



法人会がん保険制度
法人会医療保険制度
全国法人会総連合

AFアツ課-2024-0250-2409012 5月10日



エンゲージメント向上のための コミュニケーション術

コミュニケーション力を上げる

5つのスキル

エル教育企画 飯嶋宗広

組織におけるコミュニケーションの重要性

組織力の強化には「コミュニケーション」は欠かせません。

社内外の人間関係の崩壊で業績不振や信用を失うことが多々あります。社内でのハラスメントの問題や離職の原因の多くは、コミュニケーション不足や不備があらうかと思えます。

最近ではLINEやインスタグラムなどのSNSが非常に発達して一見お互いに関係構築しているように見えますが、本当の意味で「心からのつながり」になっているかという疑問です。

企業においても、通信ア

葉の意味は、「伝えあう」ことです。

一方的な伝達はコミュニケーションとは言いません。時々、コミュニケーションが苦手という人がいます。「人との会話が苦手」「口下手」など。

しかし、コミュニケーションは、「話す」ことだけではありません。「表情」「アクション」などさまざまな方法があります。

大きく分けると、「言語」と「非言語」です。この2つのスキルを磨くことで、より一層お互いに「伝えあう」ことができます。

言語（言葉や文章など）は、「事実」「情報」などは伝わりませんが、「感情」「本音」などは伝わりにくいのです。それらは、「非言語」（特に表情やしぐさ）のほうが伝わります。また、言葉は本音と違うことをいうことがあります。

「コミュニケーションの意味」

コミュニケーションの言

最終的に「信頼関係」を築くことです。

社内において、「信頼関係」の強化が「エンゲージメントが高い組織」につながります。

コミュニケーション力を上げる5つのスキル

(1) ラ・ポールスキル

コミュニケーションの目的を果たすために、まず必要なことは、相手との「絆」を深めることです。

親しくなる一つの大きな手段が「ラ・ポール」なのです。

「ラ・ポール」とはフランス語で「架け橋」という意味で自分と相手をつなぐものと解します。親しみから信頼関係に発展させるスキルです。

一つの方法は相手との「共通項」を増やすことです。

どんなことでも「共通点」や「似たもの」が多くなれば親しくなれます。

趣味や嗜好、考えや価値観、出身校など何でもよいのです。例えば、ゴルフの

好きな人とラウンドを回ると親しくなりますし、会話も弾みます。

また、仲良くなるための二つ目の方法は、相手の良いところを「認め」「褒める」ことです。

褒められると嬉しくなり、褒めるほうも相手の良いところを探そうとします。

お互いが常にそういう姿勢であれば親和性は高くなり、仲良くなれます。それまで気まずい関係であつても修復できます。

(2) 「伝える」スキル

コミュニケーションは、自分の意見や考え、情報などを伝えることがあります。

これには3つの方法があります。俗にいう「メラビアンの法則（あるいは3Vの法則）」と言われているものです。

①言語情報 (Verbal)

これは文章で伝える方法（あるいはAIの声で伝える）。これで伝わる率は7%

②聴覚情報 (Vocal)

これは、相手の耳（聴覚）

を刺激する伝え方です。言葉に、感情や強弱、抑揚をつけて伝えると38%伝わるといわれています。

③視覚情報 (Visual)

これは文章以外で相手の目に伝える方法です。表情、動作、画像、動画、実物などの目に見えるもので伝えると55%伝わるといわれています。

この3つを使うことで100%伝えることができるということです。

(3)「質問する」スキル

コミュニケーションは、お互いを知ることです。

そのためには「質問」するスキルを学ぶ必要があります。質問しないと相手は何も教えてはくれません。

まず、質問するにあたって、訊きたい内容を自分から開示します。「私は、飯島宗広と申します。よろしかったらお名前をきかせてください」など。

また、質問には2つの方法があります。

一つは、「クローズドクエスション」。これは、相

手に「イエス」または「ノー」と答えさせる質問です。二者、三者択一、〇×式もこれに入ります。

この質問は、相手にあまり考えさせないので、営業のクロージングによく使います。しかし、相手の意見を閉ざしてしまう危険性があります。

二つ目は、「オープンドクエスション」。

これは、相手に自由に答えさせる質問です。

相手は自由に答えられますが、的を絞らないと逆に答えづらくなります。

この「オープンドクエスション」は、コーチングやカウセリングにも使用し、質問力が高まれば、相手が自分の能力に気付き、行動変容させる力があります。

この能力を磨くことは指導力強化に大いに役立ちます。

(4)「傾聴する」スキル

上記の質問力で相手の話を引き出し、「傾聴するスキル」によって相手とのラ・

ポールを築くことができます。

す。人間関係を築く大きなポイントは、相手の話を傾聴するかどうかで決まります。

職場でも同じことです。上司の指示をきちんと聴かなかつたら事故の元になります。

部下の報告を聴かなかつたら現場の把握ができません。お客さまの話を聴かなかつたら信用を失います。

「傾聴」とは、相手に対して「耳」、「顔」、「体」、「心」を傾け全身全霊で相手の話を聴き、相手を「重要な人物」と思うことです。

また、「アクティブリスニング」で、さらに積極的に話を聴き、相手の話を引き出すことを言います。

相手の顔を見て、うなずき、質問し、共感しながら一生懸命聴き、相手から「この人は、本当に一生懸命聴いてくれている」と思ってもらえることで信頼関係が築かれます。

(5)「観察する」スキル

優秀な上司は、部下をよく観察しています。

「A君は、何となく元気がないな」など。これは素晴らしい能力です。

観察力が優れている人は、普段から相手のことに関心をもつて、あるいは愛情をもつて好意的にみているので、ちよつとした何かで「いつもと違う」ことに気付くのです。

「観察するスキル」は、「非言語」で相手を理解することができ、また伝えることができます。このスキルを磨くことは非常に大切です。

相手をどのように観察するか、その方法はさまざまあり、専門的な方法もありますが、一般的によく使う目の動き「アイ・パターン」があります。

特に日本人は、「目は口ほどにものを言う」のことがわが国にあるように「目」を重要視します。相手の「怒り」も「喜び」も「悲しみ」も目に現れたりします。

また、後ろめたい感じや嘘を言った時は目に落ち着きがなかつたりします。

強い決意や覚悟の目には迫力があります。欧米人は、目より口元を重要視するようです。

その他、目以外に唇の動きや、その人の「癖」や何気ないしぐさ、口調によって、その人の心の状態が表れることがあります。

最後に

国家も会社も「人」の集合体です。他人との協調性や相互理解がなければ組織になれません。

自己主張も大切ですが、一方的な主張や力ある方が優先する社会や組織は争いの原因になります。

相手の主張も聴き、協調しあい、理解しあうことが平和を築きます。

すべては「人間関係の構築」が最優先なのです。正しいコミュニケーションを理解しスキルを磨きましよう。

そして、その第一歩は、「挨拶」です。明るく元気な挨拶から始めましょう。